

令和2年度 第1回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和2年6月15日(月)16:00～17:20

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 10 名：笹良剛史（友愛会南部病院麻酔科部長）、中村清哉（琉大病院緩和ケアセンター副センター長）、野里栄治（北部地区医師会病院外科外来医長）、友利あかね（琉大病院緩和ケアセンター副看護師長）、足立源樹（那覇市立病院放射線科部長）、三浦耕子（県立中部病院産婦人科副部長）、屋良尚美（県立中部病院がん相談支援センター師長）、朝川恵利（県立宮古病院地域連携室看護師）、名嘉眞久美（沖縄県がん患者会連合会）、増田昌人（琉大病院がんセンター長）

欠席者 3 名：中島信久（琉大病院緩和ケアセンター副センター長）、酒井達也（県立八重山病院地域診療科）伊波善之（沖縄県保健医療部健康長寿課）

陪席者 2 名：吉澤龍太（那覇市立病院がん専門看護師）、内間みなみ（琉大病院がんセンター）

報告事項

1. 令和2年度緩和ケア・在宅医療部会、在宅ワーキング、研修ワーキング委員名簿一覧
資料1に基づき、令和2年度緩和ケア・在宅医療部会、在宅ワーキング、研修ワーキング委員名簿一覧が確認された。
2. 令和元年度 第1回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨
資料2に基づき、令和元年度第1回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨が承認された。
3. 令和元年度緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング第1回～第4回議事要旨
朝川委員から資料3に基づき説明があり、令和元年度緩和ケア・在宅医療部会在宅ワーキング第1回～第4回議事要旨が承認された。
4. 令和元年度緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング第1回、2回、令和2年度第1回議事要旨
三浦委員から資料4に基づき説明があり、令和元年度緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング第1回、2回、令和2年度第1回議事要旨が承認された。
5. 令和2年度 緩和ケア研修会開催日程一覧表
資料5に基づき、令和2年度の緩和ケア研修会開催日程一覧が確認された。
三浦委員から、今年はどうなるのかというのが一番問題。拠点病院の琉球大学病院、那覇市立病院、県立中部病院は10月から12月にかけて順次開催していく予定となっているが、未だ厚生労働省からの方針がはっきり出ていないため、見通しが定かでないという説明があった。
6. その他

足立委員より、緩和ケアチーム実地研修の開催についてはどうなったのか、琉大病院だけが実施するのか、それとも拠点病院が実施するのかという質問があり、増田委員より現段階では未定なので分かり次第、委員へメールにて周知すると回答があった。

協議事項

1. 令和2年度 緩和ケア・在宅医療部会 部会長・副部会長の選任について

部会長は前年度に引き続き笹良委員となった。副部会長に関しては、足立委員より新部会長（笹良委員）が指名してはどうかという提案があり、笹良新部会長の指名により野里委員と屋良委員が副部会長となった。

2. 痛みのスクリーニングと結果のフィードバック及び主治医（チーム）の行動変容について

(1) 琉球大学病院

友利委員より、資料7に基づき報告があった。

(2) 那覇市立病院

吉澤在宅WG委員から、資料8に基づき説明があり、笹良部会長より全患者におけるスクリーニングの割合について質問があり、入院患者は日々、8割以上は出来ている印象がある。外来もがんの疾患があれば、ほぼ全員にスクリーニングをお渡ししているので高確率で対応していると回答があった。

(3) 県立中部病院

屋良委員より、資料9に基づき報告があった。

(4) 南部病院及び豊見城中央病院

笹良部会長より、豊見城中央病院では外科病棟の入院患者を中心にほぼ全員スクリーニングを行っているとの報告があった。

3. 拠点病院におけるPDCAサイクル体制強化について

増田委員から、資料11に基づき、がん拠点病院のPDCAサイクルについて情報共有がされた。

増田委員から、拠点病院はピアレビューを行わなければいけないと昨年度、義務化されたが、新型コロナの影響で推進しようという動きが止まっていると思われる。

緩和だけでなく、すべての領域に関して、県内の拠点病院の総合訪問をして、ピアレビューすることが恐らく数年以内に義務化されると思う。だが、ピアレビューの良い方法が今のところ定かではないという説明があった。

4. 日本緩和医療学会 第3回九州支部学術大会（沖縄県）について

笹良部会長から、資料12に基づき、今年度はコロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止になった説明があった。九州支部代議委員会でのメール稟議で、来年度に沖縄県で2021年11月20日（土）、21日（日）沖縄コンベンションセンターにて開催予定となっており、正式決定は

2020年6月20日（土）に日本医療部会の理事会及び代議委員会で決定することになるので、順次報告すると説明があった。

増田委員より、学会としてはタイトなスケジュールとなっているため、実行委員を立ちあげ、骨格のところだけは決めてもう始めた方がいいのではないかと。11月～3月は新型コロナの影響で身動きをとれなくなる恐れがあるため、なるべく6月中にはメンバーを決め、今年の10月までに9割型決めておいた方が問題ない気がする。決まり次第、部会のメンバーにも途中経過など報告して頂きたいと意見があがった。

笹良部会長より学会としての方針が正式に決まり次第、すぐに実行委員会を立ちあげて、なるべく早い段階で情報を共有すると説明があった。

5. 緩和ケア情報シート改定について

増田委員から、資料13に基づき説明があり、笹良部会長より緩和ケア情報シートを書く方は大変かと質問があり、友利委員より特に改定後、書き難いなどの意見は出てきていないのでそのままでも問題ないのではないかと回答があった。

増田委員より、定期的にバージョンアップしていくことによって、確認していることが一般病院にアピールしやすいので、ホスピス協議会で議論して頂いて、もし問題がなければ、ver2.1などにして日付を改めてバージョンアップしていくという提案があった。

足立委員より、緩和ケア情報シートを書く側と受ける側それぞれの人達にインタビューしてみることによっていろんな意見が聞けるのではないかとという意見があがり、増田委員より、琉大病院の中で実施してみると説明があった。

6. 次回令和2年度第2回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

候補日：令和2年9月頃 15：00～17：00の間で概ね1時間予定

場所：ZOOMによるWeb会議を予定（状況によっては琉大病院がんセンターで開催）

後日、調整さんにて日程調整をすることとなった。

7. その他

名嘉真委員から与勝病院で改訂版の緩和ケア情報シートを見たことがなく、情報が行き届いていないのではないかとという意見があがった。